



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 株式会社クレハ 上場取引所 東
 コード番号 4023 URL <http://www.kureha.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 数井 明生 (TEL) 03-3249-4651
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	32,443	14.7	2,229	145.4	2,328	751.4	1,595	—	1,601	—	3,464	—
29年3月期第1四半期	28,291	△11.5	908	△49.4	273	△87.0	△25	—	△34	—	△3,678	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
30年3月期第1四半期	円 銭 93.16	円 銭 77.46
29年3月期第1四半期	△2.00	△2.00

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、基本的1株当たり四半期利益および希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	231,910	128,520	126,798	54.7
29年3月期	234,907	125,972	124,297	52.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.50	—	55.00	—
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、平成29年3月期の期末配当金は当該株式併合後の金額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	9.6	5,000	10.8	5,000	40.3	4,000	31.0	232.68
通期	142,000	7.3	11,000	18.8	11,000	22.5	8,400	20.0	488.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	18,168,390株	29年3月期	18,168,390株
30年3月期1Q	977,015株	29年3月期	983,280株
30年3月期1Q	17,187,146株	29年3月期1Q	17,186,402株

(注) 平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、昨年度からの緩やかな回復基調が継続しました。また、世界経済も先行き不透明感は継続しているものの、米国、欧州およびアジア経済圏で比較的堅調に推移しました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上収益は前年同期比14.7%増の324億43百万円、営業利益は前年同期比145.4%増の22億29百万円、税引前四半期利益は前年同期比751.4%増の23億28百万円、四半期利益は前年同期の25百万円の損失から15億95百万円の利益となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期の34百万円の損失から16億1百万円の利益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上収益			営業損益		
	前第1四半期	当第1四半期	増減	前第1四半期	当第1四半期	増減
機能製品事業	7,419	9,700	2,281	△371	△18	353
化学製品事業	4,924	4,964	39	△9	234	243
樹脂製品事業	10,079	11,176	1,097	955	1,686	731
建設関連事業	2,280	3,071	790	173	35	△137
その他関連事業	3,588	3,531	△57	29	134	104
調整額(注)	—	—	—	131	157	25
連結合計	28,291	32,443	4,152	908	2,229	1,321

(注) 営業利益の調整額には、報告セグメントに配分していないその他の収支が含まれております。

① 機能製品事業

機能樹脂分野では、リチウムイオン二次電池用バインダー用途向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA(ポリグリコール酸)樹脂および加工品の売上げが増加し、この分野での売上げは増加し、営業損失は縮小しました。

炭素製品分野では、売上げは前年同期並みでしたが、コスト削減に努めた結果、前年同期の営業損失から営業利益となりました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比30.7%増の97億円となり、営業損失は前年同期3億71百万円から18百万円となりました。

② 化学製品事業

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」等の医薬品の出荷は減少しましたが、農業・園芸用殺菌剤の売上げは増加し、この分野での売上げは減少しましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。

工業薬品分野では、無機薬品類および有機薬品類の売上げは増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比0.8%増の49億64百万円となり、前年同期9百万円の営業損失から2億34百万円の営業利益となりました。

③ 樹脂製品事業

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、フッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

業務用食品包装材分野では、熱収縮多層フィルム等の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益は共に増加しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比10.9%増の111億76百万円となり、営業利益は前年同期比76.6%増の16億86百万円となりました。

④ 建設関連事業

建設事業は、民間工事および公共工事で建設工事が増加し、売上げ、営業利益は共に増加しました。

エンジニアリング事業は、営業利益は減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比34.7%増の30億71百万円となり、営業利益は前年同期比79.3%減の35百万円となりました。

⑤ その他関連事業

環境事業は、産業廃棄物処理等の増加により、売上げは増加し、営業損失は縮小しました。

運送事業は、売上げは減少しましたが、コスト削減により営業利益は増加しました。

病院事業は、売上げ、営業利益は共に減少しました。

この結果、本セグメントの売上収益は前年同期比1.6%減の35億31百万円となり、営業利益は前年同期比359.8%増の1億34百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第1四半期末の資産合計につきましては、前期末比29億96百万円減の2,319億10百万円となりました。流動資産は、営業債権及びその他の債権が減少したこと等により、前期末比52億61百万円減の700億10百万円となりました。非流動資産は、大型の設備投資が一巡したこと等により有形固定資産が前期末比5億36百万円減の1,153億74百万円となりましたが、その他の金融資産に含まれる投資有価証券の評価額の増加があり、前期末比22億64百万円増の1,618億99百万円となりました。

負債合計につきましては、前期末比55億44百万円減の1,033億90百万円となりました。これは、有利子負債が前期末比31億73百万円減の678億34百万円となったこと、および賞与の支払いを実施したこと等によります。

資本合計につきましては、前期末比25億47百万円増の1,285億20百万円となりました。これは、剰余金の配当を9億45百万円実施する一方、親会社の所有者に帰属する四半期利益を16億1百万円計上すると共に、投資有価証券の評価額の増加等によりその他の資本の構成要素が増加したこと等によります。

(3) 今後の見通し

2017年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	6,222	6,212
営業債権及びその他の債権	29,387	25,244
その他の金融資産	332	35
棚卸資産	36,497	35,720
売却目的保有資産	772	—
その他の流動資産	2,060	2,798
流動資産合計	75,272	70,010
非流動資産		
有形固定資産	115,911	115,374
無形資産	1,395	1,340
持分法で会計処理されている投資	10,714	10,891
その他の金融資産	25,342	27,424
繰延税金資産	1,350	1,363
その他の非流動資産	4,920	5,504
非流動資産合計	159,634	161,899
資産合計	234,907	231,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2017年6月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,369	18,578
社債及び借入金	46,689	44,132
その他の金融負債	836	1,322
未払法人所得税等	873	618
引当金	5,742	4,240
その他の流動負債	6,161	6,146
流動負債合計	80,672	75,038
非流動負債		
社債及び借入金	23,561	22,966
その他の金融負債	1,291	1,246
繰延税金負債	1,492	2,217
引当金	386	371
退職給付に係る負債	382	400
その他の非流動負債	1,147	1,148
非流動負債合計	28,261	28,351
負債合計	108,934	103,390
資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,430	9,434
自己株式	△4,456	△4,436
利益剰余金	101,731	101,547
その他の資本の構成要素	5,132	7,792
親会社の所有者に帰属する持分合計	124,297	126,798
非支配持分	1,674	1,722
資本合計	125,972	128,520
負債及び資本合計	234,907	231,910

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	28,291	32,443
売上原価	21,142	24,303
売上総利益	7,149	8,139
販売費及び一般管理費	6,708	6,521
持分法による投資利益	369	490
その他の収益	144	156
その他の費用	46	34
営業利益	908	2,229
金融収益	244	287
金融費用	879	188
税引前四半期利益	273	2,328
法人所得税費用	299	733
四半期利益又は損失(△)	△25	1,595
四半期利益又は損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△34	1,601
非支配持分	8	△5
四半期利益又は損失(△)	△25	1,595
1株当たり四半期利益又は損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△2.00	93.16
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△2.00	77.46

要約四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益又は損失(△)	△25	1,595
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△338	1,454
確定給付制度の再測定	△48	202
合計	△386	1,656
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,300	212
キャッシュ・フロー・ヘッジ	0	—
持分法によるその他の包括利益	△965	—
合計	△3,265	212
税引後その他の包括利益	△3,652	1,869
四半期包括利益	△3,678	3,464
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△3,664	3,442
非支配持分	△14	22
四半期包括利益	△3,678	3,464

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2016年4月1日残高	12,460	9,430	△4,450	95,723	304	△2,682	△2
四半期損失(△)				△34			
その他の包括利益						△3,256	0
四半期包括利益合計	—	—	—	△34	—	△3,256	0
自己株式の取得			△0				
株式報酬取引					3		
配当金				△945			
非支配持分との資本取引							
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				3			
所有者との取引額合計	—	—	△0	△941	3	—	—
2016年6月30日残高	12,460	9,430	△4,450	94,748	308	△5,938	△1

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	確定給付制度の 再測定	合計				
2016年4月1日残高	7,393	—	5,013	118,177	1,263	119,440	
四半期損失(△)			—	△34	8	△25	
その他の包括利益	△325	△48	△3,629	△3,629	△22	△3,652	
四半期包括利益合計	△325	△48	△3,629	△3,664	△14	△3,678	
自己株式の取得			—	△0		△0	
株式報酬取引			3	3		3	
配当金			—	△945	△35	△981	
非支配持分との資本取引			—	—		—	
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	△52	48	△3	—		—	
所有者との取引額合計	△52	48	△0	△941	△35	△977	
2016年6月30日残高	7,014	—	1,382	113,571	1,213	114,784	

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ
2017年4月1日残高	12,460	9,430	△4,456	101,731	319	△3,582	—
四半期利益				1,601			
その他の包括利益						212	
四半期包括利益合計	—	—	—	1,601	—	212	—
自己株式の取得			△0				
株式報酬取引		3	20		△20		
配当金				△945			
非支配持分との資本取引 その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替				△839			
所有者との取引額合計	—	3	19	△1,784	△20	—	—
2017年6月30日残高	12,460	9,434	△4,436	101,547	298	△3,370	—

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素			合計	合計	非支配持分	資本合計
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産	確定給付制度の 再測定					
2017年4月1日残高	8,395	—	5,132	124,297	1,674	125,972	
四半期利益			—	1,601	△5	1,595	
その他の包括利益	1,426	202	1,841	1,841	27	1,869	
四半期包括利益合計	1,426	202	1,841	3,442	22	3,464	
自己株式の取得			—	△0		△0	
株式報酬取引			△20	3		3	
配当金			—	△945	△41	△986	
非支配持分との資本取引 その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	1,041	△202	839	—	66	66	
所有者との取引額合計	1,041	△202	818	△942	24	△917	
2017年6月30日残高	10,863	—	7,792	126,798	1,722	128,520	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業部を置き、各事業部は取り扱う製品について、国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「機能製品事業」「化学製品事業」「樹脂製品事業」「建設関連事業」「その他関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属する主要製品・サービスは以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能製品事業	PPS樹脂、フッ化ビニリデン樹脂、炭素繊維、球状活性炭 リチウムイオン電池用負極材、PGA(ポリグリコール酸)樹脂および加工品
化学製品事業	慢性腎不全用剤、抗悪性腫瘍剤、農業・園芸用殺菌剤、か性ソーダ、塩酸 次亜塩素酸ソーダ、モノクロルベンゼン、パラジクロルベンゼン、オルソジクロルベンゼン
樹脂製品事業	家庭用ラップ、流し台用水切り袋、食品保存容器および調理シート、フッ化ビニリデン釣糸 塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、多層ボトル、自動充填結紮機(食品包装用)
建設関連事業	土木・建築工事の施工請負業務、工事監理業務
その他関連事業	環境修復および産業廃棄物の処理、運送および倉庫業務、理化学分析・測定・試験および検査業務 医療サービス

(2) 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と同一であります。セグメント間の内部売上収益は、主に市場価格に基づいております。

当社グループのセグメント情報は以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位：百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	7,419	4,924	10,079	2,280	3,588	28,291	—	28,291
セグメント間の 内部売上収益	150	85	46	1,851	1,339	3,474	△3,474	—
計	7,569	5,009	10,126	4,132	4,927	31,765	△3,474	28,291
営業利益又は損失(△)	△371	△9	955	173	29	776	131	908
金融収益								244
金融費用(△)								△879
税引前四半期利益								273

(注) 営業利益又は損失の調整額にはセグメント間取引消去等による利益33百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益144百万円およびその他の費用△46百万円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	機能製品 事業	化学製品 事業	樹脂製品 事業	建設関連 事業	その他関連 事業	計	調整額 (注)	要約四半期連 結損益計算書 計上額
売上収益								
外部顧客への 売上収益	9,700	4,964	11,176	3,071	3,531	32,443	—	32,443
セグメント間の 内部売上収益	155	140	92	1,166	1,356	2,911	△2,911	—
計	9,855	5,104	11,268	4,238	4,887	35,355	△2,911	32,443
営業利益又は損失(△)	△18	234	1,686	35	134	2,072	157	2,229
金融収益								287
金融費用(△)								△188
税引前四半期利益								2,328

(注) 営業利益又は損失の調整額にはセグメント間取引消去等による利益35百万円、主に報告セグメントに配分していないその他の収益156百万円およびその他の費用△34百万円が含まれております。